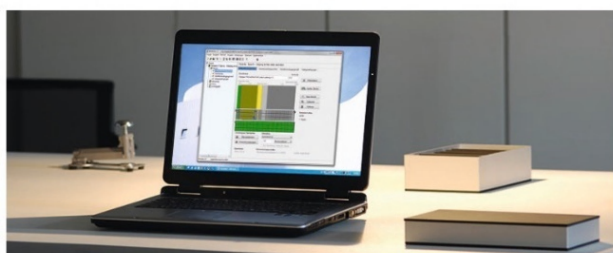


IBP-WUFI Seminar2018 in the University of Tokyo

テーマ：「高気密・高断熱化に防湿計画は欠かせない！ーイマドキの防湿計画ー」

WUFI® Pro



開催日時：2018年11月21日(水) 9:00 開場/ 9:30 開会/ 12:00 閉会

会場：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス 工2号館 211 講義室

主催：東京大学 前真之サステイナブルデザイン研究室

フラウンホーファー建築物理研究所 (IBP)

有限会社 イーアイ (EI,Ltd.) <http://www.wufi.jp/>

参加費 (当日会場)：学生 無料/ 一般 1,000 円 (資料代)

進行：

09:30 開会

09:35 講演1 「温熱シミュレーションの必要性」(仮題)



前 真之 東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授

東京大学 工学部建築学科 准教授。建築のいわゆる環境が専門。「建築とエネルギー その望ましい未来」をテーマに、シミュレーションや設計を通して学生の人たちと一緒に考えています。主著：エコハウスのウソ (日経 bp) <https://twitter.com/maemasayuki>

10:00 講演2 「高気密・高断熱化に防湿計画は欠かせない！ーイマドキの防湿計画ー」

田中 絵梨 フラウンホーファー建築物理研究所



2003年、お茶の水女子大学 生活科学部 博士前期課程 修了。その後 DAAD(ドイツ学術交流会)の奨学生として渡独し、フラウンホーファー建築物理研究所(在シュツットガルト)の温熱技術部門で、省エネルギー住宅に関する研究を行う。2006年に同研究所の熱・湿気部門(在ホルツキルヘン)に異動。WUFIを使ったコンサルティングや日本人ユーザーへのサポートおよび、建材データの作成を担当。

対象：将来の建築を担う学生、現役の実務者

テーマ：「高気密・高断熱化に防湿計画は欠かせない！ーイマドキの防湿計画ー」

- ・湿気による害の具体例とその原因 (断熱性の低下、木が腐る、カビるなど)
- ・なぜシミュレーションによる防湿計画? (定常計算で考慮できないこと、欧米の基準)
- ・壁や屋根の中での水蒸気と液体の水の動き
- ・湿気性状に与える影響 (気候、表面の色、太陽光パネル、防湿シートの種類)
- ・熱湿気同時移動解析プログラム WUFI のデモンストレーション

11:10 質疑応答 司会 前 真之

11:50 閉会

参加申込書

IBP-WUFI Seminar2018 in the University of Tokyo

「高気密・高断熱化に防湿計画は欠かせない！ーイマドキの防湿計画ー」

会 場：文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス
工2号館 211 講義室



最寄り駅からのアクセス

- ・本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩 8 分
- ・本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩 6 分
- ・湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩 8 分
- ・東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩 1 分



*Seminar 参加者は参加申込書にご記入願います。。

◆名 前：

◆会社名：

所属部署・役職名

◆住所（会社・自宅）：

◆電話番号：

FAX 番号：

E-mail：

参加申込先 FAX 03-3436-0678 E-mail : info@f-ei.jp

*フラウンホーファー建築物理研究所とは



フラウンホーファー研究機構はドイツ各地に 72 の研究所・研究施設を構え、約 25,000 人のスタッフを擁する欧州最大の応用研究機関です。フラウンホーファー建築物理研究所は、建築物理の分野における研究、開発、試験およびコンサルティング業務を行っている 1 機関です。具体的には、建築物の騒音制御、防音対策、ホールにおける聴覚条件の最適化、エネルギーの有効利用、照明技術、室内気候の諸問題、防湿および劣化対策、歴史的建築物の保存などです。また、高効率な独自の測定装置を備えており、建築物理的に複雑な現象の測定や試験を受託しています。ドイツおよびヨーロッパ内の建材や工法の公式な 認定機関の役目も担っています。